

## ゴボウ部会

北営農センター 石原誓志郎

### 「菊池水田ごぼう」冬ゴボウの出荷本番!



新役員です  
冬から春へしっかり出荷します



関東・関西方面に12月2日、400ケース(1ケース2キロ)を初出荷。出荷本番前の11月28日に出荷査定会を開き、出荷規格、出荷日程の確認。冬ゴボウ出荷者は74戸で、栽培面積は87ha。3月中旬まで関東、中京、関西、九州一円に届けます。上野洋一部会長は「播種時期の高温干ばつで生育が遅れ、初出荷が1週間ほど遅れた。小ぶりだが品質は良好。栽培環境は厳しいが、多くの出荷が出来るよう部会員一丸となって頑張る」と力を込め、収穫作業を進めています。多くの人に「菊池水田ごぼう」を手にとってもらえるよう、生産者と市場をつないでいきます。

★1月26日の熊日紙面「くまもとめぐりん」コーナーに、上野部会長登場予定です。

## スナップエンドウ部会

北営農センター 橋口裕幸

### 品質良好で出荷中

目ならし会と現地検討会



出荷本番に向けて11月2日に目ならし会と栽培講習、現地検討会を開きました。熊本、名古屋方面へ11月12日から出荷が始まり、秀品率がよく、甘味がありおいしいと市場でも好評です。部会発足20年となりました。部会員戸数15戸、栽培面積130a。反当り2t取りを目標に、管理作業、収穫作業に力を入れています。温度、水分管理の徹底で3～4月の出荷最盛期に備えます。5月中旬まで総出荷量25tを目指します。早田雅信会長は「出荷前の10月に多発したチョウモ目害虫には心配したが、早めの防除対策の講習や、気候の回復で品質も安定してきた。油断はできないが、講習会等の徹底で、出荷量を伸ばしていきたい」と意気込んでいます。温暖化による害虫防除対策など、管理作業は大変ですが、生産者の努力で品質は良好です。これから本番、しっかりサポートしていきます。

## イチゴ部会

北営農センター 森航平

### おいしいイチゴの季節がやってきました!!



イチゴ部会では「ゆうべに」「ひのしずく」「恋みのり」の3品種を栽培。11月中旬「ゆうべに」から出荷が始まりました。出荷本番を前に、出荷規格や着色基準を確認する出荷目ならし会を開き、出荷者の意識を統一しました。市場に到着する時期を見据えて鮮度と品質の強化を図ります。古閑信一部会長は「9月の定植時期は猛暑で苦勞したが、乗り越え、出荷の時期を迎えることができ、品質は良好。消費者の期待に応えていきたい」と話しています。「ひのしずく」選りすぐりの黒箱「糖みつ使用のこだわりいちご」、輸出にも力を入れています。部会員の所得向上に向け努力していきます。

## ネギ部会

北営農センター 吉良優輝

### 柔らかく甘い「白ネギ」出荷中

目ならし会



旭志中央支所管内を中心に白ネギの出荷が始まっています。11月下旬に目ならし会を開き、出荷規格やスケジュールを確認。今後の管理作業の講習会も行いました。1～2月に出荷最盛期を迎えます。工藤満雄

部会長は「猛暑の影響が少しあるが、回復してきた。良質な白ネギを部会員一丸となって出荷していく。多くの人に食べてもらいたい」と力強く話しています。良質な堆肥により品質は良好です。市場では柔らかく甘みがあると好評。有利販売につなげるよう努力します。

## 人参部会

南営農センター 営農指導員 西淳史

### 秋冬ニンジン本番

目ならしで規格確認

菊陽町・大津町を中心に秋冬ニンジンのお荷本番を迎えています。品種は「愛紅(あいこう)」「ゆうべに」「TCH-711」が中心で、県内をはじめ関西、中国方面へ出荷。期間中は3,750tのお荷を見込んでいます。お荷が始まった11月下旬、共選でお荷する菊陽支部は市場との販売会議を、個別選果でお荷する大津支部は市場を交えた目ならし会を開きました。お荷は3月下旬まで。部会員60人で作付面積は125ha。目ならし会で今村将吾副部会長は「播種期の高温干ばつによる水不足や、台風による強風などで、ニンジン栽培にとって大変難しい年となった。品質は良いが小ぶり傾向だ。これからの生育を見ながらしっかりお荷していきたい」と話しました。適期収穫に努め、市場と情報交換を密におこない要望に応じていきます。

